

ベストクラス候補選定理由書

作成者：庭瀬涼右，坪内稔明，松本 剛，石原 諭，進藤佑香

科目名称 人間的成長を促す教育の理論と実践A（昼間クラス） (担当教員名：吉水裕也，大関達也，平野亮)	
課程：大学院（専門職）	開講時期：後期
授業形態：講義・演習	授業規模：（11人）
インタビュー対象教員名 吉水 裕也，大関 達也，平野 亮 (実施日時：8月2日(金)9時00分～9時45分，8月20日(火)14時50分～15時20分 実施場所：図書館会議室，総合研究棟中会議室)	
インタビュー対象受講者名 林 裕一，水本 美穂 (実施日時：8月7日(水)16時30分～17時10分； 実施場所：総合研究棟中会議室)	
選定理由 私たちは6月に行われたベストクラスの検討会を行い，評価値の高さ，そして受講者の自由記述の内容から，ベストクラスの候補として「人間的成長を促す教育の理論と実践A」の科目を挙げた。以下の内容は，授業者と受講者へのインタビューを行った内容である。 「授業者のインタビューより」（授業における工夫） <ul style="list-style-type: none">● 15回の授業を3人の教員が分担し進める。前半の授業では，能力観や人間観について理論の面から考える授業構成となっている。後半の授業では，各コースでレポートを作成し，全体で意見を共有する流れである。● 受講する学生の中には，管理職を目指している学生や，社会人から教員を目指している学生など様々なバックグラウンドの受講者がいるため，受講生に寄り添い授業することを意識している。● 講義では，受講生の話し合いを重要視している。そのため，教員は情報の提供を行い，主に聞くことに徹することで，受講生の主体性を大切にしている。 「受講生のインタビューより」 <ul style="list-style-type: none">● 授業の回を重ねるごとに，繋がりを感じることができた。理論を学び，その後レポートを作成する流れがよかったと考える。● 今まで考えたこともないことや，考えているつもりになっていることが明らかになり新鮮な気持ちになった。（批判的に考察する力など）● コースごとにグループワークをすることで，同じ文献であっても，とらえ方や考え方にコースの特色がでた。● たとえば骨相学など，この講義でしか学ぶことができない学びができた。● 授業をしている教員がとても楽しそうであった。 「総括」 <p>受講生のコメントやインタビューの結果から，授業の目的及び期待される学習に記載されている，学際的・批判的に考察する能力の定着や，子どもの成長を実現するために教員が留意する事柄とは何かを考えることのできる授業になっていたと言える。これは授業者である3人の教員の熱意や授業の工夫が実を結んだ結果だと言える。よって，評価の高さ，自由記述欄の具体性，インタビューを通じた結果から本授業はベストクラスにふさわしいと結論した。</p>	